Patent Abstracts of Japan

PUBLICATION NUMBER

01265702

PUBLICATION DATE

23-10-89

APPLICATION DATE

18-04-88

APPLICATION NUMBER

63096159

APPLICANT:

MITSUBISHI ELECTRIC CORP;

INVENTOR:

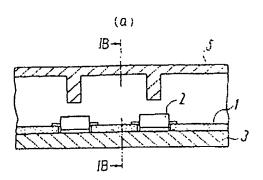
NISHIMURA SHUJI;

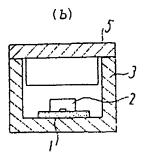
INT.CL.

H01P 3/08 H05K 9/00

TITLE

MICROWAVE CIRCUIT





ABSTRACT :

PURPOSE: To suppress the propagation due to an undesired waveguide made by providing a shield plate on a semiconductor element in the inside of a case in a direction orthogonal to the signal transmission direction.

CONSTITUTION: The circuit consists of a case 3 and a cover connecting a semiconductor element 2 with a microstrip line 1 and mounting it. The cover 5 mounted with a shield plate is provided on the semiconductor element 2 in a direction orthogonal to the transmission direction. Thus, the propagation of the undesired waveguide mode generated in the case 3 and the cover 5 is suppressed and the prevention of abnormal oscillation due to undesired feedback in, e.g., a high gain multi-stage amplifier and the reduction of interference between input and output are facilitated.

COPYRIGHT: (C)1989,JPO&Japio

⑩ 公 開 特 許 公 報 (A) 平1-265702

®Int. Cl. ⁴

識別記号

庁内整理番号

(3)公開 平成1年(1989)10月23日

H 01 P 3/08 H 05 K 9/00 8626-5 J F-7039-5E

審査請求 未請求 請求項の数 1 (全4頁)

60発明の名称 マイクロ波回路

②特 願 昭63-96159

匈出 願 昭63(1988) 4月18日

@発明者 西村

修司

兵庫県尼崎市塚口本町8丁目1番1号 三菱電機株式会社

诵信機製作所内

⑪出 願 人 三菱電機株式会社

東京都千代田区丸の内2丁目2番3号

個代 理 人 弁理士 早瀬 憲一

明 細 書

1. 発明の名称

マイクロ波回路

2. 特許請求の範囲

(1) マイクロストリンブ級路に半導体案子を装着したマイクロ放集積回路を導電体からなり上記マイクロストリンブ級路と長手方向を共通にするケースおよびその開口部を獲うカバーによつて包んでなるものにおいて、

上記ケースおよびカバーで包まれる空間内の上配半導体案子の上部に上記長手方向に直角な方向のシールド板を備えたことを特徴とするマイクロ波回路。

3. 発明の詳細な説明

[産業上の利用分野]

この発明は、マイクロストリップ級路と半導体 数子とからなるマイクロ放集機回路と、ケース及 びカバーとで構成されたマイクロ波回路に関する ものである。

〔従来の技術〕

第4 図(a) は従来のマイクロ波回路を伝送方向に 切断した側面断面図であり、同図(b) は図(a) の NB - NB 線での平面断面図である。

図において、(1)はマイクロストリップ級路、(2) は半導体架子、(3)はケース、(4)はカバーである。

次に動作について説明する。マイクロストリンプ級路(1)と半導体案子(2)とからなるマイクロ波集 積回路をケース(3)及びカバー(4)の中に入れてマイクロ波回路を構成する場合、マイクロストリップ 級路(1)上を伝搬する仏号のほかに、ケース(3)及びカバー(4)内が導放管として動作し、不要な導放管モードによる信号が伝搬する。

導放管モードによる伝搬は、第4図(b) 中の長さ & によりカントオフ周波数 fcが式[1] のように決 まり、マイクロ波集機回路の大きさの制約により & を所要の長さにできなくて所要周波数 f が f c より大きい場合、より一層不要な電波の伝搬が生 しる。

fc = C/2· C: 光速

... (··· (11)

〔 発明が解決しようとする課題〕

この発明は上配のような課題を解決するために なされたもので、所要信号を損失なく伝搬し、か つ不要な電波の導放管モードによる伝搬を押える とができ、かつ製作が容易なマイクロ放回路を 得ることを目的とする。

〔 課題を解決するための手段〕

この発明に係るマイクロ波回路は、半導体 案子をマイクロストリップ 線路 で接続 し、これらを取付けるケース及びカバーとからなるマイクロ波回

(3)

シールド板を取付けたカパー(5)を設けたので、ケース(3)及びカバー(5)内で発生する不要な導放管モードの伝搬を押えることができ、例えば、高利得多段増幅器における不要な帰還による異常発振の防止や入出力の干渉の軽減等が容易に可能となる。

また、電波吸収体を用いて不要な電波の伝搬を 抑える方法に比べると、所要信号の損失がなく、 出力電力の減少や NFの劣下、利得の減少等の問題 点はなくなる。

なお、上配第1の実施例ではシールド板とカバーとを一体化したものを示したが、第3凶に示す第2の実施例のように、シールド板(6)とカバー(4)とを分離し、ケース(3)に費を切り、その選にシールド板(6)を落とし込む構造にしてもよい。第3図(a)はこの第2の実施例の信号伝送方向に切断した側面断面図、同図(b)における IIB - IIB 級および IIC - IIC 級での断面図である。

[発明の効果]

以上のように、この発明に係るマイクロ波回路

路において、その内部の半導体案子の上に信号の 伝送方向と直交する方向にシールド板を設けたも のである。

[作用]

この発明におけるマイクロ被回路は、そのケース内部の半導体 累子の上に信号伝送方向と直交する方向にシールト板を設けたので、ケース内で発生する不要な導波 管モードの伝搬を押えることができる。

〔発明の寒施例〕

以下、この発明の第1の実施例を図について説明する。第1図(a) はこの実施例になるマイクロ波回路を伝送方向に切断した側面断面図、同図(b) は同図(a) の IB ー IB 線における正面断面図であり、第2図は分解説明図である。

図において、(1)はマイクロストリップ線路、(2)は半導体案子、(3)はケース、(5)はシールト板付カバーである。

とのような構成からなるマイクロ波回路では、 半導体 繁子(2)の上に、伝送方向と直交する方向に (4)

では、そのケース内部の半導体案子の上に信号伝送方向と直交する方向にシールド板を設けたので所要信号を損失なく伝搬し、かつ、不要な導放管モードによる伝搬を押えることができ、また、製作も容易なものが得られる効果がある。

4. 図面の簡単な説明

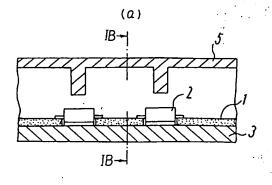
第1図(a) はこの発明の第1の実施例になるマイクロ波回路を伝送方向に切断した側面断面図、第1図(b) は同図(a) の ! B ー I B 線における正面断面図、第2図はその分解斜視説明図、第3図(a) はこの発明の第2の実施例になるマイクロ波回路を伝送方向に切断した側面断面図、第3図(b) は同図(a) の皿B ー II B 線における正面断面図、第3図(c) は同図(b) の II C ー II C 線における平面断面図、第4図(a) は従来マイクロ波回路を伝送方向に切断した断面図、第4図(b) はその N B ー N B 線における正面断面図である。

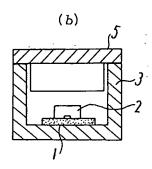
図において、(1) はマイクロストリップ級路、(2) は半導体系子、(3) はケース、(4) はカバー、(6) はシールド板である。

(7)

代理人 早瀬 憲一

第 1 図



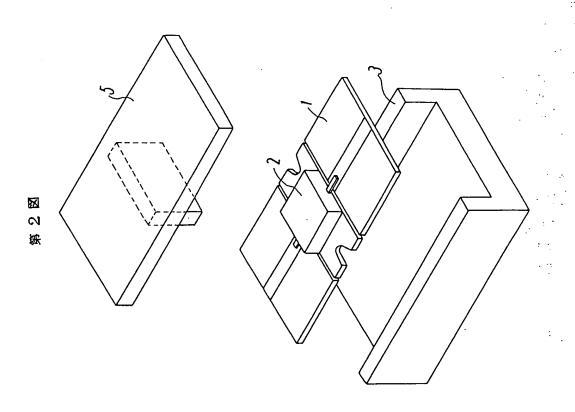


1:マイクロストリップ線路

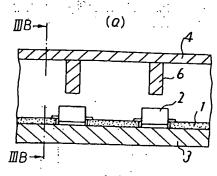
2:半導体素子

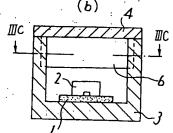
J:ケース

5:シールド板付カバー



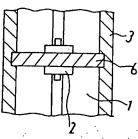






(c) 4: 7/1-





第 4 図



